

大庭 通嘉 議員

道路行政の充実を

問 自治会より生活道路の改良や修繕など多くの要望が寄せられ、うち実施されるのは37%程度である。特に生活道路の要望は40件のうち事業化に向け検討されたものは1件程度である。もっと、自治会要望に応えていくべきだ。

答 現行制度では要望の取りまとめなど地元の皆様にご負担をかけているにもかかわらず事業化できていない。今後、限られた予算の中で要望に応えるよう対応するとともに、要望制度のあり方も含めて検討したい。

問 森町袋井インター通り線西側の川井西のまちづくりをどのように進めていくか。

答 地区計画に向け9割を超す同意がされており、2019年度末の都市計画決定に向け法定手続きを進めていきたい。



袋井図書館

図書館の充実を

問 インターネット上で本を無料で借りてパソコンやスマートフォンで閲覧できる磐田市でも導入している電子図書館サービスはできないか。

答 経費が紙の書籍の3倍程度であることや運用に200万円程度のランニングコストがかかることから現時点では導入の考えはないが、今後引き続き研究していきたい。

佐野 武次 議員

入札制度の改善

問 現在の入札方法では、行政が作成した金額入り設計書の開示は契約日の2日後となっており、仮に設計書に違算があっても契約後のため異議の申し立てはできない。これでは透明性や公平性に欠けるため、制度を是正することを提案するがどうか。

答 入札及び契約は、透明性や公平性を確保し適正に実施されなければならぬため、遅くとも来年度からは必ず新たな制度を取り入れていきたい。

膵臓がんの早期発見体制の確立

問 尾道市では、腹部エコーによる膵臓がんの早期発見に努めている。本市でも、この方式を導入しては。

答 尾道方式の情報収集や医師会など、医療機関の意見を伺った中で研究したい。

今後の松くい虫対策の進め方

問 「グリーンウエーブキャンペーン」で、多くのボランティアの方々により植樹した松が再び枯れてしまった。今後の対策は。

答 枯れた松は、健全な松への被害を防ぐため、県の補助を受け伐採を継続して実施していく。また、伐採後の植樹は、被害が深刻な大野や東同笠地区を中心に、早急に検討したい。



グリーンウエーブキャンペーン植樹箇所(西同笠地内)